

抗 Rpn5 (*S.cerevisiae*) 抗体, Affinity 精製

62-203 100 μ l

プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。ピキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたりミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている(文献1)。**Rpn5p**は26Sプロテアソーム lid (蓋部)の重要な non-ATPase 制御サブユニットであり、哺乳類の p55 サブユニット、また別の *S. cerevisiae* 制御サブユニットである Rpn7 と類似している(文献2、3)。**Rpn5p**は445アミノ酸から成り、分子量は51,768である。

用途:

- 1) ウェスタンブロットィング (~1000 倍希釈)
- 2) 免疫沈降

他の用途は試されていない。

製品: リコンビナント Rpn5p でアフィニティ精製したウサギ・ポリクローナル抗体

抗原: 大腸菌に発現させたリコンビナント酵母 Rpn5p

形状: 精製 IgG in 100 mM NaCl, 10 mM Tris-HCl pH 7.4, 0.05 % sodium azide

反応特異性: *S. cerevisiae* Rpn5p。他の種については試されていない。

保存: 4℃または-20℃で送付、小分けして-20℃で保存。凍結・融解は避けるが、必要な時は急速におこなう。

データリンク: SGD [RPN5/YDL147W](https://www.yeastgenome.org/locus/RPN5/YDL147W)

文献: この抗体は文献3で用いられた。

1. Hershko A and Ciechanover A "THE UBIQUITIN SYSTEM." *Annu Rev Biochem* **67**: 425-479 (1998) PMID: [9759494](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9759494/)
2. Finley D *et al* "Unified nomenclature for subunits of the *Saccharomyces cerevisiae* proteasome regulatory particle." *Trends Biochem Sci* **23**: 244-245 (1998) PMID [9697412](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9697412/)
3. Isono E *et al* "The assembly pathway of the 19S regulatory particle of the yeast 26S proteasome." *Mol Biol Cell* **18**: 569-576 (2007) PMID: [17135287](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/17135287/)

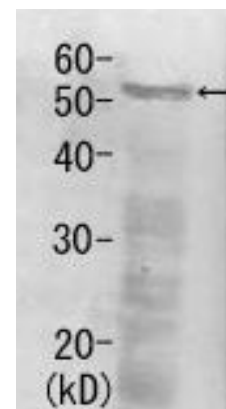


図1 この抗体を用いた *S. cerevisiae* 粗抽出液におけるウェスタンブロットィングにより Rpn5 (52kDa)を検出した。

関連製品: [#62-201 anti-Rpn3](#), [#62-205 anti-Rpn7](#), [#62-207 anti-Rpn9](#), [#62-209 anti-Rpn12](#),
[#62-211 anti-Nob1](#), [#62-213 anti-Nas6](#), [#62-215 anti-Tem1](#)